世田谷区社協キャラクター ココロン

上町地区社会福祉協議会だより 第16号

令和３年３月発行

上町地区キャラクター 代官ホタルン

コロナに負けない 上町地区 を目指して！

社会福祉協議会はこれまで、住民の皆さんの声を拾って様々なサービスや活動に繋げる役割を担ってきましたが、新型コロナウィルス感染症の影響を受け、多くのサービスや活動が縮小や中止を余儀なくされました。
先が見えない中でも、地域の繋がりの維持や複合的な課題に対応するために「新しい生活様式での繋がりづくり」の在り方を、住民の皆さんと一緒に試行錯誤しながら、前向きに取り組んでいます。

令和2年度 上町地区社協 一年間のご報告

青空の下で





人と人、社会との繋がりを保ちながら…

対策を徹底し 正しく 恐れながら…

個別対応で



乗り越えよう！

差別 偏見 不安



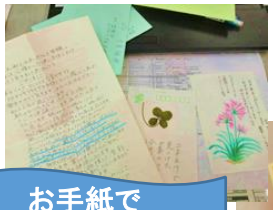
“こんな時だからこそ！”を合言葉に

お店の方々と









お手紙で



スマホを使って

地域の皆さんと共に

非対面・非接触で





刻々と変化する状況に応じて

地域の力で



With コロナでも あきらめない

具体的な活動の詳細は中面をご覧ください

回覧																			

上町地区社協
「こんなときだからこそ！」1年間の取り組み

課題 × 住民・関係団体との協同 ＝ 取り組み

緊急事態宣言「うちで踊ろう♪」

アプリ COCOA がリリース

世田谷区上空にもブルーインパルス

GoTo トラベル

いろいろあった GoTo トラベル

安部首相（当時）辞任会見

はやぶさ２帰還

再び緊急事態宣言…

4月 5月 6月 7月 8月 9月 11月 12月 2月 3月

- ほっこりメール＆通信（継続）
  - 弦巻編
  - 桜編
  - 世田谷編
  - 防災
- レター作戦
- ふれあいカフェ通信（継続）
  - 1号
  - 2号
  - 3号
- 地区サポアンケート
- オンライン体験会
- フードドライブ
- 歳末募金箱設置
- 繋がろう大作戦！

非対面でのつながりの維持

ほっこりメール＆ほっこり通信

地域住民から「憂鬱なニュースばかりで気分が沈んでいる」とお悩みの声を受け、ほっこりするニュースやおうち時間を楽しく過ごす知恵、専門職からの情報などを掲載。日頃から地域活動に取り組む住民の皆様や関係団体の皆様と一緒に全７回に渡って発行しました。



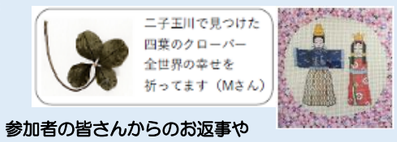
多世代交流 上町ふれあいカフェ レター作戦と 「ふれあいカフェ通信」

繋がりの維持やゆるやかな見守りを目的に、スタッフが参加者の皆様へお手紙を送ったのが発端で創刊されたのが、「ふれあいカフェ通信」です。


送ったお手紙の一例


気持ちのこもったお返事や
絵手紙、押し花など

参加者の方からのお返事や作品を掲載するコーナー、専門職からの情報コーナーなど紙面の内容も盛りだくさん。「毎回お手紙が届くのを楽しみにしています」「早く皆さんで集まれる日が待ち遠しいです」という声をたくさん頂き、スタッフの皆さんの活力にもなっています。



参加者の皆さんからのお返事や
素敵な手作り作品も通信に掲載しています


必ずまた会いましょう！

おうちから地域へエールを ココロンで繋がろう大作戦！

コロナ禍での生活に少しずつ慣れてきたものの、「家でやることがなにもない」「楽しみな行事が全て中止で寂しい」という声が聞こえ始めました。そこで社協のサロンの皆様や関係団体の皆様の協力の下、社会福祉協議会キャラクター「ココロン」の手作り作品展を開催する事に。作品と一緒に地域で共にコロナと戦うたくさんの人へ向けたメッセージを添えて、おうちから、施設から、それぞれの場所から、皆でエールを送りあう。題して「ココロンで繋がろう大作戦」です。



高齢者の方から園児の皆さん、どれも力作ぞろい！


個性あふれるココロンたち。

作品はまちづくりセンターに掲示すると共に、外出しなくても作品が見られるよう、地域のボランティアの方にご協力を頂き、Facebook 上でも公開しました。

食の支援を通した繋がり

（協力）フードドライブ

主催：上町地区身近なまちづくり推進協議会生活環境部会
上町地区ごみ減量・リサイクル推進委員会

長く続くコロナ禍に伴い課題となっている困窮への支援として、上町まちづくりセンターが窓口となり地域の方々から提供された食品等２００点が集まりました。お母さんと相談して食品を持参してくれた小学生もいました。社会福祉協議会を通じて、地区内の子ども食堂、コロナ禍で困窮している世帯、ひとり親世帯などへ寄付させて頂きました。

夏休み中の小学生





オンライン化への取り組み

オンライン体験会 上町・経堂地区合同





With コロナでスマホなどデジタルツールの活用が地域活動でも注目されるようになりました。
「オンラインのビデオ通話に興味はあるけれど…」「LINE は難しそうでなかなか手が出ない」というサロン代表のお悩みの声を受け、オンライン体験会を開催しました。体験会をきっかけに、LINE グループを立ち上げた団体もあり、新しい繋がりの形が出来始めています。

サロン活動 新たな取り組み



密を避けながら繋がりを保ち続けるため、区民農園での野菜収穫を活動に加えた子育てサロン。土を触って、野菜に触れて、コロナ禍でも親子でリフレッシュできています。



子ども食堂 新たな取り組み



子ども食堂の活動は、第一次緊急事態宣言下だった４月から食材の配布に切り替えています。住民の皆様や企業から集まった寄付の食材を手渡しながら「元気？」「弟と仲良く食べてね！」などの会話が生まれます。コロナ禍で明日の食事に困る家庭も増えてきており、より無くてはならない活動になっています。



令和2年度

社協会費募集・歳末たすけあい地域支えあい募金の報告

核家族化、独居化、共働き世帯の増加など家族構成やライフスタイルが大きく変化している中、地域の繋がりの希薄化が地域の課題になっています。

また、コロナ禍による「困窮の長期化」や、より複合的な課題を抱える世帯の増加等についても、地域での新たな課題として挙がっています。

皆様からいただいた会費、募金は、地域での支えあいの仕組みづくりを推進していくための財源として活用させていただきます。

※今年度は、感染予防の観点から戸別訪問での会費募集・募金活動は自粛し、実施致しました。

社協会費

金額　475,000 円

（令和３年３月１日現在）



歳末たすけあい 地域支えあい募金

金額　419,513 円

（令和３年３月１日現在）

ご協力ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

社協協力店に募金箱を設置

街頭募金や戸別訪問での募金活動は自粛となりましたが、新しい取り組みとして上町地区の社協協力店さん等にご賛同いただき、手作りの募金箱を設置！

合計 5,557 円のご厚志をいただきました。

◆募金箱設置にご協力頂いたお店・施設（敬称略）◆

五健整骨院弦巻本店、天狗湯、NPO 法人たつなみ会

上町まちづくりセンター上町あんしんすこやかセンター



五健整骨院弦巻本院
院長　師橋先生

渾身の手作り募金箱





天狗湯の番台

身近な福祉の相談窓口

社会福祉協議会 をご利用ください

地域の福祉人材の育成





身近な地域の居場所づくり

孤食の防止・食の支援



産前産後支援・子育て支援





家事支援・生活支援

社会福祉協議会は、地域の皆さんや福祉施設、ボランティア、民生児童委員、行政、各関係機関などが参加し「誰もが暮らしやすいまち世田谷」の実現にむけて活動している公共性の高い民間の非営利組織です。

◎掲載内容や上町地区社会福祉協議会に関するお問合せ先◎

世田谷区社会福祉協議会

上町地区事務局　TEL：070-3946-9787

（住所：世田谷 1-23-5 上町まちづくりセンター内）

メルマガでも情報配信中！
QR コードから登録してね！